

矢作川圏域大規模氾濫減災総合協議会の開催

～矢作川水防災協議会(国)、矢作川圏域水防災協議会(県)の合同開催～

- 令和2年度については、「新型コロナウイルス感染症 愛知県緊急事態宣言及び緊急事態措置」に鑑み、書面送付により開催。
- 矢作川の洪水から流域住民の命を守り、社会経済被害の最小化を目指す「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組として、国や愛知県管理区間の関係機関、矢作川や矢作川圏域の減災に係る取組方針を策定している。
- 令和元年度では、平成30年度引き続きに危機管理型水位計の拡充設置をはじめ、洪水時に堤防の連続的に危険度がわかる「水害リスクライン」の活用など、防災・減災に係る取組みを実施。
- 「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針(令和元年12月)」の矢作川における既設ダムの洪水調節機能強化の取組み状況。

【開催概要】

日時: 令和2年5月22日(金) (書面発送による開催)
 開催方式: 書面開催(後日、意見徴収のうえ、会議資料公開)
 出席者: 14市町長、愛知県建設局長、名古屋地方気象台長、陸上自衛隊、中部電力(株)、河川情報センター
 その他防災担当者、中部地方整備局 豊橋河川事務所長、矢作ダム管理所長 その他防災担当者 計28機関

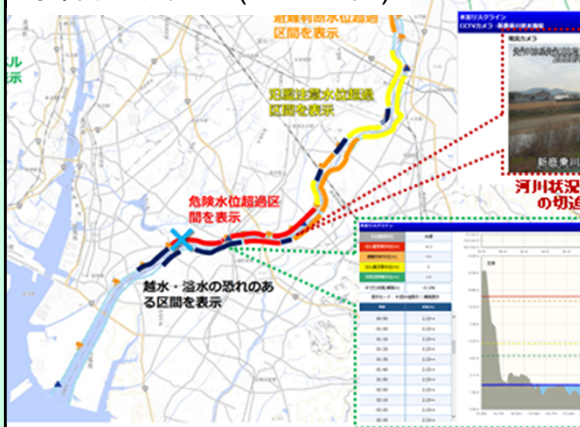
【主な議事】

- (国交省報告) 既設ダムの洪水調節機能強化
水害リスクライン
「水防災意識社再構築ビジョン」に基づく矢作川の減災に係る取組
… 危機管理型水位計の設置、矢作ダム再生 等
洪水予報連絡会・水防連絡会の事業計画 等
- (愛知県報告) 危機管理型水位計に係る設置計画
出水期における体制確認について
「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の改定等を踏まえた水防災協議会の取組
… 防災情報連絡会への参画 等
- (自治体報告) 警戒レベルを用いた情報伝達の周知
みずから守るプログラム地域協働事業
要配慮者利用施設における浸水対策に係る取組 等

昨年度の開催状況(令和元年5月)



水害リスクライン(イメージ図)



イメージ

みずから守るプログラム地域協働事業

